

# 極早生でたくさんとれるチモシー「北見33号」

道内各地域で安定して収量が多く、マメ科牧草と混ぜ播きにより適した品種です。

## 背景

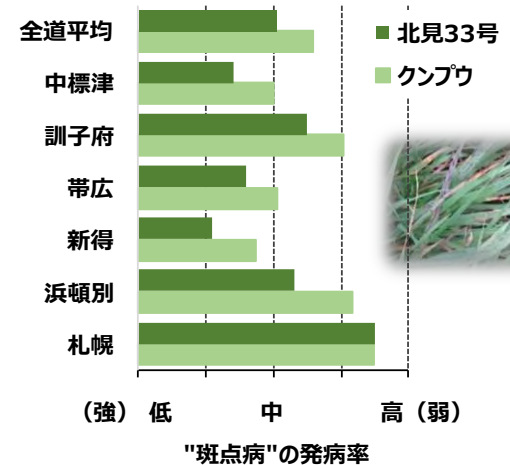
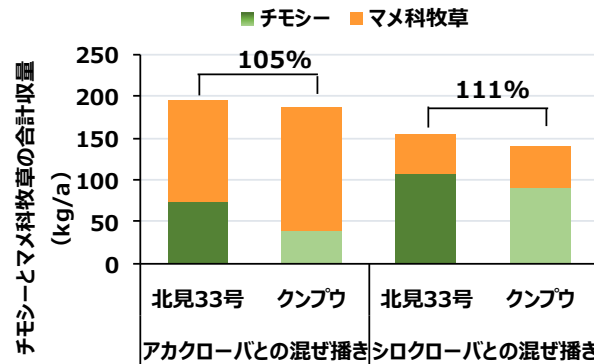
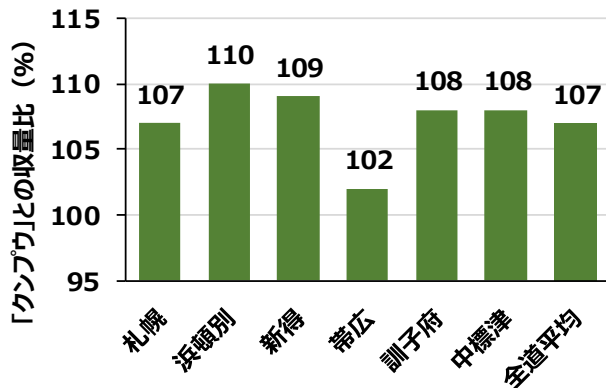
- チモシーは北海道では最も人気が高い牧草です。なかでも生育の早い極早生品種は年間3回収穫することで良質な飼料をたくさん得ることが出来ます。
- 現在極早生の優良品種は北見農試が昭和55年に育成した「クンプウ」1品種のみですが、より収量が多く、マメ科牧草との混ぜ播きに適した品種が求められていました。



## 成果

新品種「北見33号」を開発しました

- 道内各地の試験の結果、全ての試験地で「クンプウ」より多収でした。
- 「クンプウ」に比べてマメ科牧草との競合に強くなりました。
- 病害への抵抗力も「クンプウ」より強くなりました。



## 期待される効果

- 「北見33号」は年間3回の刈取を行う牧草地へ導入すれば収量がアップし、牧草地がより長持ちすると期待されます。
- 「クンプウ」と置き換えることにより道内20,000haの牧草地への普及が見込まれます。